

平成 18 年 8 月 23 日

要 望 書

文部科学省高等教育局
局長 石川 明 殿

全国医学部長病院長会議
会長 大橋 俊夫
医学教育委員会・国家試験に関する専門委員会
委員長 別所 正美

第 100 回医師国家試験を受験した受験生および全国の大学医学部、医科大学の教官を対象にして、平成 18 年度に実施した医師国家試験に関するアンケート調査の結果に基づき、全国医学部長病院長会議として以下を要望いたします。

- 1) 国試に関する情報公開を継続して実施していただき、透明性の確保に引き続きご努力いただきたい。
- 2) 質の高い良問を出題するよう、引き続きご努力いただきたい。
- 3) 共用試験の本格実施、診療参加型臨床実習の浸透など、卒前教育が大きく変化し、卒業後臨床研修が義務化されているなか、医師国家試験のあり方そのものについて改めてご検討いただきたい。特に、大学での勉強と国試との整合性、共用試験と国試との整合性、という視点に立った検討をお願いしたい。
- 4) 個人情報に配慮しつつ、受験生の試験結果を各大学へフィードバックしていただきたい。
- 5) 受験会場の早期通知、受験環境の更なる改善、合格発表の早期化を実現していただきたい。

以上の要望につき、文書での回答をお願いいたします。

平成 18 年 8 月 23 日

要 望 書

厚生労働省医政局
局長 松谷 有希雄 殿

全国医学部長病院長会議
会長 大橋 俊夫
医学教育委員会・国家試験に関する専門委員会
委員長 別所 正美

第 100 回医師国家試験を受験した受験生および全国の大学医学部、医科大学の教官を対象にして、平成 18 年度に実施した医師国家試験に関するアンケート調査の結果に基づき、全国医学部長病院長会議として以下を要望いたします。

- 1) 国試に関する情報公開を継続して実施していただき、透明性の確保に引き続きご努力いただきたい。
- 2) 質の高い良問を出題するよう、引き続きご努力いただきたい。
- 3) 共用試験の本格実施、診療参加型臨床実習の浸透など、卒前教育が大きく変化し、卒後臨床研修が義務化されているなか、医師国家試験のあり方そのものについて改めてご検討いただきたい。特に、大学での勉強と国試との整合性、共用試験と国試との整合性、という視点に立った検討をお願いしたい。
- 4) 個人情報に配慮しつつ、受験生の試験結果を各大学へフィードバックしていただきたい。
- 5) 受験会場の早期通知、受験環境の更なる改善、合格発表の早期化を実現していただきたい。

以上の要望につき、文書での回答をお願いいたします。